

## 論文投稿規定（第 35 号より適用）

趣旨：

近代英語の研究，あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり，未発表の論文であること。先行研究を十分に参看し，確かな研究テーマを設定し，精緻な分析を行い，明確な根拠に立脚し，新しい知見に富んだ独創的論考であること。

レイアウト：

日本語・英語ともに MS Word で横書きとし，A4 用紙を使用し，上 35mm，下左右は 30mm の余白をあける。日本語の場合は 1 ページあたり 32 字×32 行で，英語の場合は 1 ページあたり半角 80 字×32 行で作成する。Abstract の左右は 1.5 字分インデントする。

フォント：

日本語の場合は MS 明朝を，英語の場合は Times New Roman を使用し，タイトルを 14 ポイント，Abstract を 10.5 ポイント，それ以外を 12 ポイントで設定する。

総字数（総語数）：

日本語の場合は総字数を本文と後注のみで数えることとし，18,000 字以内とする。英語の場合は総語数を本文と後注のみで 5,500 語以内とする。総語数・総字数にはタイトル，Abstract，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録を含まない。原稿末尾に総字数（または総語数）を記す。

総ページ数：

日本語・英語ともに 25 ページ以内とする。総ページ数には，本文，後注，タイトル，Abstract，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録の全てを含む。原稿には通し番号を入れる。

Abstract：

日本語・英語ともに，英語で 150 語以内の Abstract を冒頭に付する。

その他：

- ・タイトルのつけ方，Abstract の提示の仕方，語注，見出しのつけ方，樹形図，表，グラフ，図版や用例の提示の仕方，後注のつけ方，参考文献の記載方法等については，最新号の「投稿規定」及び同号掲載論考，ホームページの書式見本に従うこと。
- ・英語原稿は英語母語話者のチェックを受けておくこと。
- ・謝辞は投稿時には執筆者情報ファイルに記載し，本文中には記載しないこと。

〔投稿前の留意点〕

- ・投稿規定に沿っていることを確認すること。
- ・総字数（総語数）については，必ず，制限以内であることを確認した上で原稿末尾に総字数（総語数）を記すこと。同様に，総ページ数についても，制限以内であることを確認した上で原稿に通し番号を記すこと。総字数（総語数）制限を超過した投稿原稿もしくは総ページ数制限を超過した投稿原稿については，審査対象外となる。

## 研究ノート投稿規定（第35号より適用）

趣旨：

近代英語の研究，あるいは近代英語を含む英語の歴史的研究に資する内容のものであり，未発表のものであること。確かな研究目的を示し，その学問分野における新しい知見，展望ないしは方向性を予感させる内容を含んでいること。

レイアウト：

日本語・英語ともに MS Word で横書きとし，A4 用紙を使用し，上 35mm，下左右は 30mm の余白をあける。日本語の場合は 1 ページあたり 32 字×32 行で，英語の場合は 1 ページあたり半角 80 字×32 行で作成する。

フォント：

日本語の場合は MS 明朝を，英語の場合は Times New Roman を使用し，タイトルを 14 ポイント，それ以外を 12 ポイントで設定する。

総字数（総語数）：

日本語の場合は総字数を本文と後注のみで数えることとし，5,500 字以内とする。英語の場合は総語数を本文と後注のみで 1,600 語以内とする。総語数・総字数にはタイトル，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録を含まない。原稿末尾に総字数（または総語数）を記す。

総ページ数：

日本語・英語ともに 8 ページ以内とする。総ページ数には，本文，後注，タイトル，語注，樹形図，表，グラフ，図版，参考文献，付録の全てを含む。原稿には通し番号を入れる。

その他：

- ・タイトルのつけ方，語注，見出しのつけ方，樹形図，表，グラフ，図版や用例の提示の仕方，後注のつけ方，参考文献の記載方法等については，最新号の「投稿規定」及び同号掲載論考，ホームページの書式見本に従うこと。
- ・英語原稿は英語母語話者のチェックを受けておくこと。
- ・謝辞は投稿時には執筆者情報ファイルに記載し，本文中には記載しないこと。

〔投稿前の留意点〕

- ・投稿規定に沿っていることを確認すること。
- ・総字数（総語数）については，必ず，制限以内であることを確認した上で原稿末尾に総字数（総語数）を記すこと。同様に，総ページ数についても，制限以内であることを確認した上で原稿に通し番号を記すこと。総字数（総語数）制限を超過した投稿原稿もしくは総ページ数制限を超過した投稿原稿については，審査対象外となる。

## 書評（協会からの懇意のみ）投稿規定（第 34 号より適用）

趣旨：

書評対象図書の構成と概要をまとめ、可能な限り長短を示しながら、評者の視点から述べていること。対象図書が論文集である場合は、学界の動向を知らせる論文あるいは評者の興味を引いた論文をいくつか特定すること。

レイアウト：

日本語・英語ともに MS Word で横書きとし、A4 用紙を使用し、上 35mm、下左右は 30mm の余白をあける。日本語の場合は 1 ページあたり 32 字×32 行で、英語の場合は 1 ページあたり半角 80 字×32 行で作成する。

フォント：

日本語の場合は MS 明朝を、英語の場合は Times New Roman を使用し、タイトルを 14 ポイント、それ以外を 12 ポイントで設定する。

総字数（総語数）：

日本語の場合は総字数を本文と後注のみで数えることとし、5,500 字以内とする。英語の場合は総語数を本文と後注のみで 1,600 語以内とする。総語数・総字数にはタイトル、語注、樹形図、表、グラフ、図版、参考文献、付録を含まない。原稿末尾に総字数（または総語数）を記す。

総ページ数：

日本語・英語ともに 8 ページ以内とする。総ページ数には、本文、後注、タイトル、樹形図、表、グラフ、図版、参考文献、付録の全てを含む。原稿には通し番号を入れる。

その他：

- ・タイトルのつけ方、語注、見出しのつけ方、樹形図、表、グラフ、図版や用例の提示の仕方、後注のつけ方、参考文献の記載方法等については、最新号の「投稿規定」及び同号掲載論考、ホームページの書式見本に従うこと。
- ・英語原稿は英語母語話者のチェックを受けておくこと。
- ・謝辞は投稿時には執筆者情報ファイルに記載し、本文中には記載しないこと。

### 〔投稿前の留意点〕

- ・投稿規定に沿っていることを確認すること。
- ・総字数（総語数）については、必ず、制限以内であることを確認した上で原稿末尾に総字数（総語数）を記すこと。同様に、総ページ数についても、制限以内であることを確認した上で原稿に通し番号を記すこと。総字数（総語数）制限を超過した投稿原稿もしくは総ページ数制限を超過した投稿原稿については、審査対象外となる。

### 原稿，ファイルの送付方法

- (1) 打ち出し原稿 1 部と，執筆者情報を打ち出したもの 1 部を下記の編集幹事宛に送付すること。

〒794-2593 愛媛県越智郡上島町弓削下弓削 1000

弓削商船高等専門学校 総合教育科 坂内宏行

- \* 執筆者情報に含まれるのは，執筆者氏名（日本語とローマ字で），論考種別，タイトル，略歴，生年月日（新人賞審査受託希望者のみ），連絡先住所，電話番号，メールアドレス，所属先，謝辞である。これらの内，タイトル以外は原稿中には記さないこと。なお，和文原稿の場合は必ず英文タイトルも付けること。

- (2) 原稿および執筆者情報の電子ファイルを下記の編集幹事宛にメール添付にて送付すること。

弓削商船高等専門学校 総合教育科 坂内宏行（近代英語協会事務局編集幹事）

e-mail : [sme.mea.japan@gmail.com](mailto:sme.mea.japan@gmail.com)

- \* ファイル形式は Microsoft Word（.doc または .docx）もしくは PDF とすること。ファイルのプロパティからは執筆者情報を削除しておくこと。（メールによる送付を希望しない場合は，CD-ROM の形で打ち出し原稿とともに編集幹事宛に送付してもよい。）
- \* ファイル名は，以下の例を参照のこと。（xxxx は氏名で置き換え）  
原稿ファイル → xx 号\_論文\_xxxx\_原稿.doc（.docx）もしくは PDF  
執筆者情報ファイル → xx 号\_論文\_xxxx\_情報.doc（.docx）もしくは PDF
- \* 編集幹事はメールでファイルを受領したときには必ず確認のメールを返信しますので，1 週間以内に返信がない場合は，お手数ですがメールにてご確認ください。

- (3) 締切り：9 月 15 日

- (4) 参考文献書式等委細については，最新号掲載論文，及び協会ホームページの書式見本に従うこと。

[注意] 編集幹事の宛先は変更となる場合があります。

最新情報はニューズレターや協会ホームページでご確認ください。